

専念寺通信

2月号 (NO.150)

<http://sennenji.s296.xrea.com/>



毎日、きびしい寒さが続いています。インフルエンザも猛威をふるっているようです。皆さま、お元気でお過ごしですか？

☆大雪

1月に雪が降りました。朝のうちは雨でそれがみぞれとなり、昼前には大きなぼたん雪に変わりました。いずれやむだろうと思っていましたが、雪は午後になっても一向にふりやまず、午後2時くらいには、専念寺の境内もごらんのように本堂の屋根がすっぽり雪におおわれました。竹も雪をかぶり、ひとときがたつと撓って雪を自分で払いおとします。木の枝の細いものは折れました。水仙も半分くらいは突然の雪で身を横たえたようになってしまいました。夏目坂では、立ち往生した自動車を数人の人が押して、なんとか坂の上に運ぼうとしていました。あきらめて置き去りにされる車もありました。夕方には、雪でしなった竹がはねかえる音、本堂の屋根の雪がじょじょにすべり落ちて、最後には、ドスン！ドスン！と道に落ちる音が、静かな境内にこだましました。翌日、皆さまがいらっしやる通路をつくるため、雪かきをしました。

スロープはすべりやすいので、門から銀杏の樹のあいだ、そこからまず大玄関まで、そして本堂の石段、そして墓地の入り口までと通り道を作るため、娘婿が朝からおおきなシャベルで奮闘しました。雪はそ



のあとも日の当たらない場所ではとけないまま残り、スロープは一部凍って、大黒は銀杏の樹のあいだで見事に転んでしまいました。お墓参りの皆さんが安心してお参りなされるようにと思いながら、一番そそっかしいのは大黒でした。2月、墓地にはきれいな霜柱がみられます。踏むとさくさく音をたて、また、土をそっとひっくり返すと3センチくらいあるきらきら光る結晶を見ることができます。

☆節分

2月3日は節分です。豆まきをなさいますか？良いことが来ますようにと、悪しきことは消えてゆきますようにとの先祖からの願いは現代にも充分通用するものです。そして、自分のところだけでなく、自分の隣人にも、そのお隣にももっと先の隣人にも、懸命に生きているすべての生あるものに善いことがありますようにと祈願できればと思います。長く伝わっている日本人の習慣はそれぞれ深い意味を持っているものだと思います。

平成24年 2月1日

大黒

